

第157回 青森県立図書館協議会 会議結果

1 日時・場所

平成29年6月7日（水） 13:30～15:00

青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館 4階 集会室

2 出席者

《協議会委員》 敬称略 9名

西山 康巳	幸山 朋人	前田 敏子	若佐谷 昭人
斉藤 光政	櫻田 泰弘	生島 美和	小笠原 秀樹
寺田 さゆり			

《図書館》

佐藤 宰（図書館長） 外10名

3 会議の概要

(1) 図書館長あいさつ

(2) 委員及び県立図書館・近代文学館職員の紹介

(3) 議長・副議長選出

議長 西山 康巳、副議長 若佐谷 昭人を選出

(4) 案件

① 図書館システム更新後の状況等について

② 短期行動指針進捗状況について

③ その他

○ 図書館サービス点検・検討のための臨時休館日の設定について

○ 館内視察

委員の主な意見・要望等

案件（１） 図書館システム更新後の状況等について

委員

図書館システムの更新によってW i - F i が利用できるよななったり、パソコンを使うブースが出来たことは非常に良かったと思っている。

ただ、システム更新の時期については、受験生にとって大事な時期だったり、県民の方からもこの時期でなければいけなかったのかというのをSNSで拝見している。

今後、システム更新をする際には時期の問題についても検討し、配慮する必要があると思う。

県立図書館

図書館システムの契約が5年間となっており、更新の時期がその5年間の期限だったため、どうしてもその時期以外の選択ができなかった。次回のシステム更新は5年後になるが、更新時期について少し工夫ができないか検討材料にさせて頂きたい。

案件（２） 短期行動指針の進捗状況について

（学校司書の配置について）

委員

八戸市の取組に詳しい議長にお伺いしたいが、同市における学校司書の配置について、10校に司書3名の配置とは、何か基準があるのか、あれば具体的に教えて欲しい。また、ブッククーポンの利用率・消化率についてもお聞きしたい。

議長

八戸市で配置している学校司書3名については、国の事業の学校図書館ネットワーク事業に係る学校図書館支援員として活用してきた方の中から来てもらっている。昨年度は10校が希望し、更に今年度は8校配置校が増えている。学校司書の数は3名のままで、新たに入った8校には月に1回対応している。最初に入った10校については、基準が何日、何時間というのは記憶していないが、市内の学校からは日数や人を増やして欲しいという

要望があがっている。

また、ブッククーポンの利用率・消化率については、昨年度は98%くらいとの報告を受けている。

(平成29年度 青森県近代文学館SNSによる情報発信構想)

委員

私自身もNPOの活動でネットラジオというインターネットを使った配信をしているので、非常に興味深く聞かせてもらった。文学館のSNSを使った情報発信については、まずはやってみて、特に近代文学館に来たことがない人にどうアプローチして行くのかが大変であるので、ソーシャルメディアを使うとか、図書館のホームページのトップにバナーを入れる等、色々な誘導の仕方があると思う。

時代が時代なので、やらないという選択肢は無い、どんどんやってみて、どういう課題が出てくるのか検証してもらいたい。

(平成29年度 青森県近代文学館SNSによる情報発信構想、応援団！宣言)

委員

私も広報に関わっているが、各種イベントをするときに一番大事なのは広報戦略である。近代文学館が多くの人々の目に触れるように、ホームページに色々なバナーを入れたり、ツイッターとフェイスブックを連動させて、フェイスブックで投稿したものを自動でツイッターにアップさせる等、労力を使わずに二つのメディアを使って発信する等の工夫をすれば良いのではないかな。

気になった事の一つは肖像権の問題である。来館者は撮られることを前提に来ている訳では無いので、その部分については配慮が必要である。

もう一つはフェイスブックやSNSは、更新しているということが大きなファクターとなっている。長い文章でなくて良いので、頻繁に更新し、継続していく必要がある。

やわらかな言葉でというのは大事なことだと思うが、20代、30代にフォーカスした時に、あまりにもキャラクターチックにならないようにしなければならない。

今回の報告では、この課のミッションはこれですと行動指針を掲げたうえで、それに対して、このようにアプローチして行きますという姿勢を見せてもらったのは、非常に熱意を感じさせられた。ただ、その熱意をこの協議会だけで無く、県民の人たちや市町村の図書館にもきちんと伝えていく戦略も必要である。その一つが応援団宣言になると思うが、誰が誰に対してやろうとしているのかが分かりにくいので整理をして頂きたい。

県立図書館

県立図書館としては、応援団宣言を市町村の図書館の方にそのまま使って頂くことを考えている。市町村の図書館職員の会議や館長会議でも説明してきたが、県立図書館のサービスを自館のサービスとして使ってくださいという形のパンフレットである。これ自体が住民の方にそのまま示される訳では無く、このコンテンツを市町村の図書館の方に使って頂くことを考えている。

委員

コンテンツを使うためのやり方ということだが、それは逆に言うと、地元の図書館にやって欲しいものを県立図書館がやってくれるということを市民側が分かっているならば、市民側から地元の図書館へ要請することもできるので、やはりきちんとした説明が必要ではないかと思う。内容としてはとても面白い。

県立図書館

県立図書館としては、県立図書館のサービスだということをあまり表に出したくない。市町村の図書館のサービスだと住民の方に感じて頂きたい。市町村の図書館の方が一生懸命やる気になって、元気になって頂きたいという思いがあるので、ポスターに〇〇図書館とネーミングを入れてそのまま使って頂くことを想定している。データは全てフリーにして使って頂きたいと考えている。

案件（3） その他（図書館サービス点検・検討のための臨時休館日の設定について）

委員

ずっと働きっぱなしでなく、皆さんが話し合うのも必要。

開館日の平均からしても本当に多い。他の図書館では祭日の次の日は休み、3月の棚卸し、9月の棚卸しということで休みに入るが、県立でも長い休みを取っているのか。

県立図書館

蔵書点検ということで年間10日以内で休みを頂戴している。これは商売上欠かせないものである。

委員

新聞とかに掲載するのか。

県立図書館

今のところそこまでは考えていない。休館日については館内掲示とホームページでの掲示を考えている。

委員

ホームページは必ず皆が見るものではないので、何かマスコミにでも情報を流した方が良いと思う。20代、30代では皆インターネットをやっていると思うが、60代、70代になると、なかなか見ることが無い。マスコミだと耳なり目なりで情報が入ってくるので、マスコミに働きかけて頂きたい。

県立図書館

分かりました。参考にさせていただきます。

案件（3） その他（一般閲覧室リニューアル視察後）

委員

以前に比べて、利用者の動線がすごく分かりやすくなったと思う。
図書館を担当しているが、どのように利用者を誘導するか考えたとき、参考になる。

委員

恩田陸さんは青森市で生まれたということだが、私たちは若い郷土の作家などにも興味があるので、若い作家の人たちを呼んで講演して頂くとかの企画もこれから考えて頂きたい。

県立図書館

まずは資料集めを優先に考えている。恩田さんが直木賞を受賞した時点では、全くターゲットに入っていなかったのが、現在資料をかき集めている状況である。他にも木村友祐さん等、若い作家についてもアンテナを広げて情報集めをしている。

郷土作家を招いての企画は、いつか実現したいと考えている。

ありがとうございました。

図書館システム更新後の状況等

(1) Web-OPACの機能向上

◇図書検索画面(Web-OPAC)が見やすく

旧システム

青森県立図書館
Aomori Prefectural Library

検索結果一覧表示

結果の絞り込み
全項目 [絞込検索]

結果の並び替え
昇順 [並び替え]

<< 前ページ 1 ~ 10 件目 / 167 件中 (上限表示件数:100) 次ページ >>

項番	雑誌・年鑑等	AV	内容
1			Qから[しめる]デジタルマニフォト/月刊マニフォト 水中海形センター, 2003. 4
2			CMYKRGB/宣伝 会議 『CMYKRGB』 編集部 宣伝会議, 2006. 6
3			DVDレコーダー購入&徹底活用BOOK/工藤 隆也 ユーリット出版, 2004. 7
4			GUINNESSアイルランドが産んだ黒いビール/こゆるぎ 次郎 小学館, 2005. 10
5			Nihon_Style Photographer/吉川 智子 翔泳社, 2006. 11
6			PCデザイナーのためのデジタル写真活用術 朝日新聞社, 2005. 3
7			Photoshop Elements デジタルカメラワーク/土屋 徳子 エクスメディア, 2002. 3
8			Photoshop並列デザイン事典/栞穂 ヒロボシ 翔泳社, 2009. 4
9			Windows XPだけで! とことんデジタルが遊び/ネクストドリーム ソフトバンクパブリッシング, 2002. 3
10			Wordのイライラ根こそぎ解消術/長谷川 裕行 講談社, 2011. 1

<< 前ページ 1 ~ 10 件目 / 167 件中 (上限表示件数:100) 次ページ >>

新システム

イメージ画面



青森県立図書館
Aomori Prefectural Library

検索結果一覧表示

結果の絞り込み
全項目 [検索キーワード] [絞込検索]

結果の並び替え
昇順 [並び替え]

<< 前ページ 1 ~ 10 件目 / 709 件中 (上限表示件数: 100) 次ページ >>

図書 雑誌・年鑑等 AV

アイデアを生むデジアナ道具術/龍神 龍彦 樫出版社; 2008. 1

青森県デジタル博物館ロード [DVD-ROM] 青森県立郷土館; [2011]

アーカイブとは何か/マリア・バルバラ・ベルティエー 法政大学出版

(2) デジタルアーカイブシステム

◇一般資料と一体化した書誌検索が可能

旧システム

一般資料はWebOPACで検索し、デジタル資料はホームページで公開している。公開しているデジタル資料は、利用者の年齢や性別の分析を行えず、書誌データも扱うことができない。



WebOPAC画面



デジタルアーカイブHP

新システム

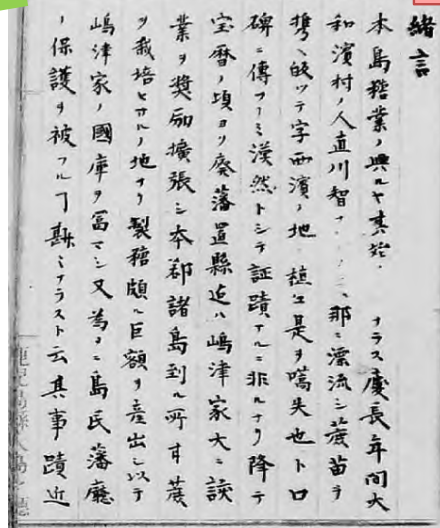
一般資料とデジタル資料とが一体化した書誌検索が可能となっています。利用者は自宅のパソコンやスマホから、デジタル資料の利用が可能です。また、デジタル資料の書誌データについても、OPACで提供することができます。

検索結果一覧

1 [デジタル資料] 大島郡糖業雑録(オオシマダントウギョウザツロク) 貸出可
菅森 儀助 著



TRC社が提供するTRC-DLシステムと連携し、実現します。



(3) 貸出延長手続きの効率化

◇貸出延長の手続きが、いつでもどこでも可能に！

旧システム

貸出延長は図書館開館時間中にカウンターか電話で手続きが必要

図書館へ連絡する時間も行く時間もない！



利用者

延長依頼の電話が多くて利用者の対応が追いつかない！



当館

利用者様が自由に延長処理できるため、サービス向上と業務効率化に繋がります。

新システム

貸出延長の手続きが、いつでもどこでも、パソコンやスマートフォン等で素早くできる！

自宅で延長できて良かった！



簡単♪

(4) 図書館業務の効率化・迅速化

◇オペレータを介して行っていた業務を見直す

旧システム

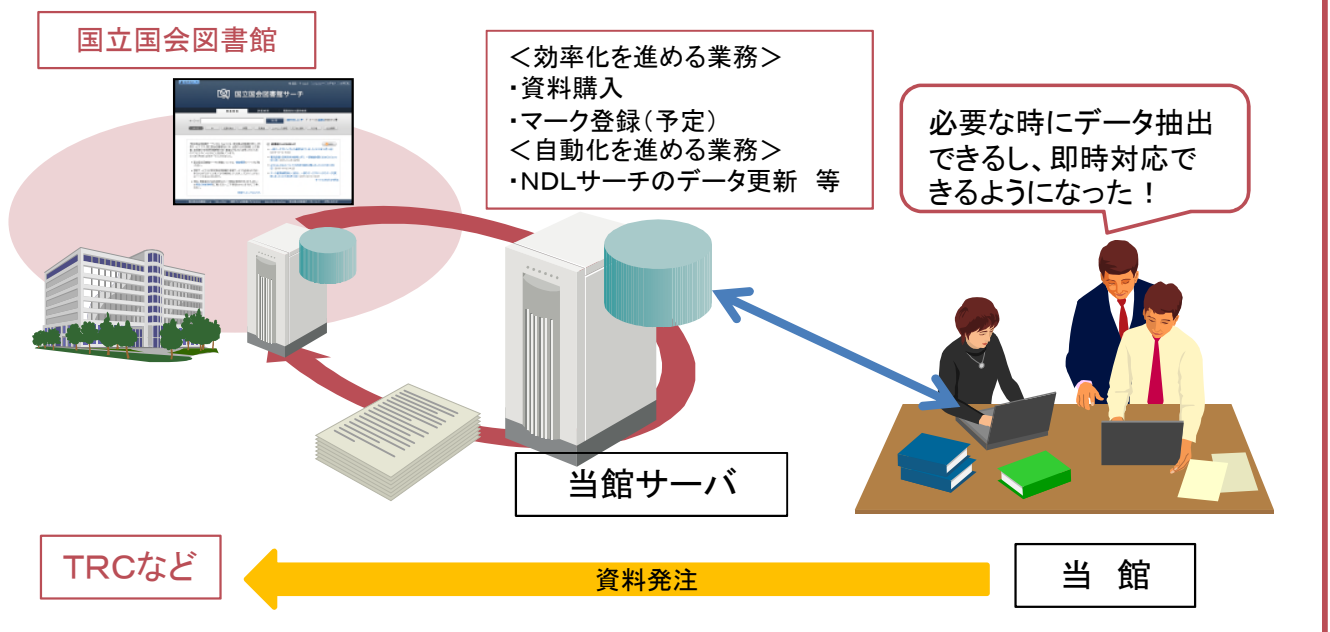
マーク登録、資料発注、NDLサーチのデータ更新などの業務はオペレーターがおこなっている



新システム

オペレーター業務をメニュー化または自動化することで、**オペレーターは常駐させることなく、業務の効率化・迅速化を図ることができます。**

これによって、資料発注は図書館システムから直接できるようになり、国立国会図書館サーチのデータ更新は自動化で行われます。



図書館職員による業務実行を可能とするよう、システム改修及びドキュメント提供を行っています。

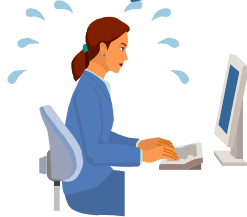
(5) CMSの導入

◇CMSを導入し、ホームページ作成・更新が簡単に

旧システム

ホームページ作りは、時間と手間がかかり大変

お知らせを今すぐアップしたいけど、ビルダーがうまくできなくて…



掲載期間が終わったページが公開されたまま！



当館



新システム

CMSでホームページを容易に作成することができるため、**ページ作成にかかる時間も短縮でき、利用者への情報提供が容易**に行えます。また、掲載内容の確認依頼や承認もCMSで実施できるため、ページ公開までの時間短縮を図ることができます。

ページ作成が簡単だから、時間ができた！

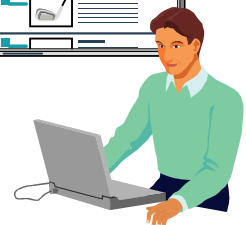


ホームページの更新頻度も多くなったからか、利用者からの問合せも減った！



当館

今月はどんなイベントがあるかな？



利用者

緊急時のお知らせ掲載など、すばやく利用者様に情報を展開できるシステムとなっています。

短期行動指針（行動計画）について

私たちは、運営方針に定める「県民の学習活動、調査研究、読書活動等を支援するとともに、地域を支える情報拠点として地域の課題解決を支援し、本県の発展に貢献する」目標に向かって、今後3か年（28～30年度）、短期行動指針に基づき、下記取り組みを重点的に行っていく。

行動指針（スローガン）

「県民のもっと近くへ ～図書館活動の見える化・使える化を進めよう～」

重点行動事項

- ① 来館できなくても利用できるサービスを拡充しよう
- ② ITの活用とデジタル化の促進で資料の見える化・使える化を進めよう
- ③ 市町村図書館、学校図書館が元気になるためにできることをもっと進めていこう
- ④ 気軽に身近にあおもり文学を感じる機会を創っていこう

3カ年の行動目標・計画

（3年後のめざす姿：目標）

- ・すべての市町村立図書館で県立図書館を利用した活性化策が実施されている（奉仕課①・③）
- ・新たに相談業務を実施する市町村立図書館ができる（奉仕課①・③）
- ・使えるデジタル郷土資料を作成し、デジタル資料の認知・活用法が広がる（奉仕課②）
- ・市町村立図書館活動のモデルとなる「元気な図書館」が2館育つ（支援課③）
- ・学校司書支援により学校司書の有用性が明らかになる（支援課③）
- ・SNSの有効利用で、あおもり文学の新たな関心層が発掘・拡大される（文学館④）

応援団！宣言

県立図書館は、県民のみなさんの
「読みたい」「知りたい」「楽しみたい」
「チャレンジしたい」…「〇〇〇たい」を
応援することを、宣言します。



市町村立図書館等のみなさんも、
応援団宣言しませんか？

青森県立図書館

●目 次●

プレゼント応援！記念日に新聞を贈りませんか？	1
展示応援団！～図書館の一角(ひとすみ)を、応援団席に～	3
ディスプレイ応援団！～高校生がつくった素敵なディスプレイ、貸し出します！～	7
読みたい知りたい応援団！	9
〔読みたい知りたい応援団！レファレンス申込票様式〕	
～見たい資料がどこにあるのか知りたい～	10
～こんなこと知りたい(ある事柄・テーマなど)～	11
プラス+県立図書館	13
県立図書館 児童室 Nonokko(ののっこ) 紹介	15

～記念日に新聞を贈りませんか～

県立図書館では、昔の新聞をたくさん保管しています。

大切なあの人の産まれた日。素敵な思い出の残るあの記念日…。

どんな天気だったの？どんな出来事があったの？どんなテレビが放

映されていたの…？新聞なら、その日のことが一目でわかります！

お誕生日のプレゼントなどに、新聞を贈ってみませんか？



プレゼント応援

「プレゼント応援！」参加方法

- *皆さんの館が、「やるぞ〜！」と宣言した日から応援団です。
- *ポスターが必要な場合は、画像データを、添付ファイル等でお送りします。自館の名前を入れるなど、自由にお使いください。
- *電話、メールなどで、連絡ください。

《プレゼントの新聞コピーの申込方法》

- *当館ホームページ「資料・文献の複写（コピー）を申込む」のフォーム
- *メールやファクシミリでも、申し込いただけます。様式は問いません。「新聞名」、「年月日」、また、「全部は要らない、この部分があればいい！（例：テレビ欄、天気欄等）」となどの希望をお知らせください。
- *コピー料金プラス送料がかかります。
個人の支払いとなりますので、利用者の方の氏名、直接、ご自宅への郵送を希望の場合には、住所も書き添えてください。

【窓口】青森県立図書館 参考・郷土室

☎：017-729-4311

☎：017-762-1757

✉：sanko@plib.pref.aomori.lg.jp



展示応援団！

ひとすみ
～図書館の一角を、応援団席に～

県立図書館の展示コンテンツを置いてみませんか。

◆コンテンツの一例◆

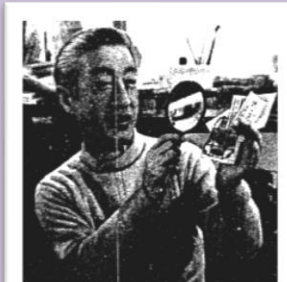
女性民俗学者の先駆け、能田多代子



五戸町出身、柳田国男門下。
終生五戸を愛し、その方言、伝承、昔話等を記録し続けた。

- パネル 1～2枚
- 貸出可能な展示用書籍 1ケース
- 展示ケースがある場合
→県立図書館所蔵の能田文庫から、展示資料をお貸しします。

美しき宝石「蔵書票」 佐藤米次郎



青森市出身、版画家・蔵書票作家。
その蔵書票は海外からの人気も高い。青森の風景や子供達をあたたかい眼差しで描いた。

- パネル 1～2枚
- 貸出可能な展示用書籍 1ケース
- 展示ケースがある場合
→県立図書館所蔵の米次郎氏蔵書票関連資料をお貸しします。

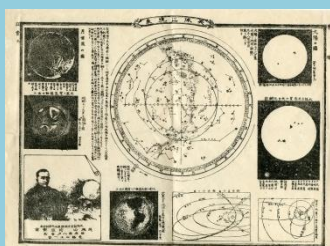
本の神様「魁星」



中国の出版が活発だった明代の末、多くの本とともに日本に入った「魁星印」は、本の神様と呼ばれています。

- パネル 1～2枚
- 貸出可能な展示用書籍 1ケース
- 展示ケースがある場合
→弘前高等学校校友会から寄贈された「弘高文庫」から、実際に魁星印が捺された資料等をお貸しします。

むつのかくにこうせついぶんくさくさ 『陸奥國巷説異聞種種』



『八戸 これは巷のはなしでございあんす』を中心に、羽仁もと子や前原寅吉など、八戸の著名人を紹介します。

- パネル 2～4枚
- 貸出可能な展示用書籍 1ケース

展示例：【美しき宝石 蔵書票 佐藤米次郎】

故郷（ふるさと） 豆展示
 第拾回 佐藤 米次郎

古書学研究、蒐書家として著名な斎藤昌三の著作に『蔵書票の話』があります。

今から八十年程まえ、青森県立図書館でこの本と出会い、「紙の宝石」とも言われる多色刷の小さな蔵書票に魅せられた兄弟が居ました。

二人は、図書館から特別にこの本を借り出し、扉絵や題字、蔵書票の模写をはじめ3センチはあるうかという厚い本を、僅か4日間で書き写し、座右に置いたそうです。

その弟が、後に版画家として活躍した「佐藤米次郎」です。

米次郎は、大正四年（一九一五）青森市生まれ。旧制青森中学に進みますが、当時は虚弱体質で、体育・軍事教練は何時も見学か教室で留守番をしていたそうです。

その時同じように見学をしていた根市良三（版画家 日本版画協会会員となるが、戦後間もなく早世）、柿崎卓治（後に、小学校教員となるが早世）とともに、校庭の緑の樹の下で、絵の話ばかりをしていたのが縁で版画同人「緑樹夢社」を結成、昭和五年、版画誌『緑樹夢』を発行したのが、米次郎の木版画のスタートとなります。



足へとつながっていきます。

『緑樹夢』の画人に影響の銅版画の先駆者純三も参加した版画研究会

昭和七年、青森中学を卒業した二ヶ月間の猛実習を受け、県庁から糸加工教師の辞令を受けた官吏と町の蚕業取締所勤務となります。この学先の先輩であり版画家の鷹山宇一のエを度々訪問し、鷹山の知り合いの出かけるなどして、七戸の風景を版しています。

昭和九年の春、自宅に帰ります。四月に東奥日報、後の知事竹内務となります。

記念行事を通じて親交を深めていった美術家、芸能人など人々（原文ママ）雑誌『吾八これく』

この東奥日報社版画家協会展、翌十二年には「国画会版画部」にそれぞれ初入選、また、多くの蔵書票集を



【ディスプレイ用テーブルやネット、ポスターグリップも貸出可能です。】



- ディスプレイ用テーブル●
サイズ：W900×D450×H700
- ディスプレイネットスタンド（片面）●
サイズ：W900×D450×H1380・1500・1630・1810
（高さは調節式）
- スチールネットフック●
[大] サイズ：W102×D93×H112
[小] サイズ：W135×D110×H140
- ポスターグリップ●
サイズ：W778×D1,080

お気軽にご相談ください！



「展示応援団！」参加方法

- *皆さんの館が「展示で使ってみようか！」と宣言した日から応援団です。
- *電話、メールなどで、連絡ください。
- *当館併設「青森県近代文学館」では、太宰や寺山など、青森県の文学・文学者のパネル展示のコンテンツ提供をしています。併せてお尋ねください。
- *また、「こんな展示がしたいけど、うちには資料が無いなあ・・・そちらに何かない？」というご相談もどうぞ。

《展示コンテンツ利用の方法》

- *展示したいコンテンツと、展示希望期間をお知らせください。
- *コンテンツは、当館の搬送ルートやアシスト事業でお伺いする日に合わせて計画を立てて頂ければ、当館でお持ちすることもできます。
- *申込書は、ありません。お問い合わせのメール・ファクシミリ等で結構です。

【窓口】青森県立図書館 参考・郷土室

☎：017-729-4311

☎：017-762-1757

✉：sanko@plib.pref.aomori.lg.jp



ディスプレイ応援団！

～高校生がつくった素敵なディスプレイ、貸し出します！

県内各地の高校生の皆さんが、子ども達のために作ってくれた素敵なディスプレイを、皆さんの図書館でも飾ってみませんか？季節の行事や動物など、いろいろなテーマのディスプレイが揃いますのでご相談ください。

五所川原工業高校
美術部さんの作品



青森中央高校
青森中央 Girls&Boy さんの作品



「ディスプレイ応援団！」参加方法

- * 今月は忙しくて・・・「館内、児童室の様様替えに手が回らない～！」と宣言した日から、図書館を楽しく使っていただくディスプレイ応援団です。
- * 電話、メールなどで、展示したいディスプレイと、展示希望期間をお知らせください。
- * これまでの高校生のディスプレイについては、HPで紹介しています。
- * また、「こんなディスプレイにしたいけど、・・・そちらに何かない？」というご相談もどうぞ。
ディスプレイに使ったパーツを、たくさん保管しています。

《展示コンテンツ利用の方法》

- * 利用したいコンテンツと、希望期間をお知らせください。
- * コンテンツは、当館の搬送ルートやアシスト事業でお伺いする日に合わせて計画を立てて頂ければ、当館でお持ちすることもできます。
- * 申込書は、ありません。お問い合わせのメール・ファクシミリ等で結構です。

【応援団窓口】青森県立図書館 参考・郷土室

☎：017-729-4311

☎：017-762-1757

✉：sanko@plib.pref.aomori.lg.jp

読みたい、知りたい応援団！

〇〇〇立図書館と県立図書館は、皆さんの「読みたい」「知りたい」をサポートします。



庭の芝生が
モグラの被害に…。
お任せください！
参考になる本があり
ますよ。

江戸時代、
犬や牛も、お伊勢参り
していたって、本当ですか？
本当です！黒石の犬は、単独
の旅では、記録の残る
日本最長と言われて
います。

探している
本があるのですが！！
全国の図書館から探します。
県内の新聞は、いつ頃ののものから
見ることができますか？
東奥日報なら、明治21年の創刊
から見ることができます。
全国紙は、データベース
があります。

知りたいこと、
調べたいことは…、
全県、全国ネットワーク
でつながっている図書館
に、お尋ねください。

お待ちしております！！



読みたい知りたい応援団！
レファレンス申込票（案）
～見たい資料がどこにあるのか知りたい～



		申込日	年	月	日
ふりがな					
申込者氏名					
ご連絡先	住所				
	電話	FAX			
	e-mailアドレス				
<p>【質問内容】（調べたいことについて具体的に記入してください）</p> <p>※調べたい資料のタイトルなどが具体的にわかるとき 資料の種類 <input type="checkbox"/>本 <input type="checkbox"/>新聞 <input type="checkbox"/>雑誌 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p>					
タイトル					
著者名					
出版社名		出版年			
図書館名		担当者名			
電話		FAX			
<p>【事前調査事項】</p> <p>①典拠・情報源（調べたいことをいつどこで聞いたか、何で知ったかなど、具体的に知りえる情報すべて）</p> <p><input type="checkbox"/>書籍・刊行物（資料名・著者名・出版社・発行年・巻号・掲載頁など） <input type="checkbox"/>インターネット（URLもしくはサイト名） <input type="checkbox"/>その他（知り合いからの情報など）</p> <p>②調査済みの事項とその結果</p> <p><input type="checkbox"/>Applins <input type="checkbox"/>NDLサーチ <input type="checkbox"/>青森県百科事典 <input type="checkbox"/>青森県人名辞典 <input type="checkbox"/>一般百科事典（ ） <input type="checkbox"/>一般人名事典（ ） <input type="checkbox"/>書籍・刊行物（資料名・著者名・出版社・発行年・巻号・掲載頁など） <input type="checkbox"/>インターネット（URLもしくはサイト名）</p> <p>③必要とされる資料のレベル（対象年齢、入門書か専門書かなど）</p>					

※青森県立図書館より、お申込みされた方に直接、内容確認のご連絡を差し上げることがあります。

「読みたい、知りたい応援団！」参加方法

- *皆さんは既に、「読みたい、知りたい応援団！」です。日々、利用者の方の「こんな本ない？」に答えているはずです。「応援団ですよ！」と、利用者の方に“大きく”宣言してください。
- *ポスター、チラシが必要な場合は、画像データを、添付ファイル等でお送りします。自館の名前を入れるなど、自由にお使いください。
- *電話、メールなどで連絡ください。

《協レファレンスの申込方法》

- *ポスター、チラシと一緒に、様式1・2を館内に置いてください。
- *利用者の方から申込みがあり、「うちの館では資料がないぞ〜！」となりましたら、県立図書館までお送りください。
- *窓口で聞き取られる場合もあると思います。
わかる範囲でかまいません、お知りになりたい内容、探している本の手がかりを、できるだけ詳しく教えてください。調査の助けになります！
- *メールでの申し込みもできます。利用者の方にもお知らせください。
- *不明な点は、お気軽にご相談ください。

【窓口】青森県立図書館 参考・郷土室

☎：017-729-4311 / 📠：017-762-1757

✉：sanko@plib.pref.aomori.lg.jp

図書館+プラス



私たちの図書館にない本も、ほかの図書館から取り寄せ、貸出しします。お探しの本がありましたら、私たちにおはなしてください。

使ってみませんか！

県立図書館の本を、お家で探してネットで予約、私たちの図書館で受け取り、

利用者登録ができます。



いつもの図書館に
サービス・プラス

皆さんのそばに、
私たち・図書館が+プラス



〇〇〇立図書館は、皆さんの“読みたい”“知りたい”を応援します。

「図書館＋プラス」参加方法

*皆さんの図書館では、日々、いろいろな「図書館＋プラス」をされています。

「図書館＋プラス」を、利用者の方に知ってもらいましょう。

*ポスター、チラシが必要な場合は、画像データを、添付ファイル等でお送りします。自館の名前を入れるなど、自由にお使いください。

*電話、メールなどで連絡ください。

もし、宜しければ、もう一つ「＋プラス」

《オンライン貸出登録の手続き》

*県立図書館のオンライン貸出サービスに必要な利用者登録（カード）を貴館でしていただけますか。

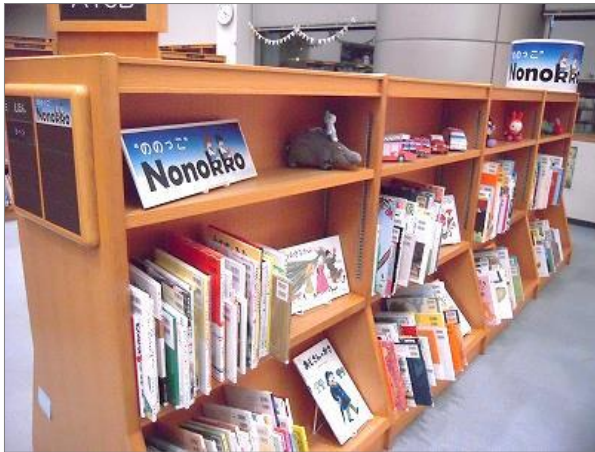


*番号登録済み、オンライン利用のパスワード、利用案内を1セットにしました。

*利用者の方に、申込書の記入と、カードに名前を書いてもらったら、当館あて連絡をくだされば、登録内容は、当館でデータ入力します。

*カードは、利用者の方が受け取ったその日から利用できます。（※氏名等登録内容の入力、データへの反映は、若干時間がかかりますので、予め、利用者の方にご説明ください。）

大好きなあの絵本にいつでも会える！「**Nonokko**」に集まれ！



Nonokko コーナー。絵本は、タイトルのあいうえお順に並んでいます。

保護者の方々に知ってほしい、子供たちに手に取ってもらいたい絵本が、いつでもそこにある。そんな本棚が、児童閲覧室にできました。

子どもたちが多くの本に出会うことができる、夢の空間。

名前は、「**Nonokko(ののっこ)**」。

※「**Nonokko(ののっこ)**」の本は、大坂会さんよりご寄贈いただきました。ありがとうございました。

図書館の大切な仕事の一つに、読書相談があります。

初めて子育てをする家族の方から、「子どもにどんな絵本を読ませたり、聞かせたらよいのでしょうか？」

という相談や、雑誌等で紹介されている絵本を実際に手に取ってみたいという声が多く聞かれます。

でも、紹介したい絵本は、子どもたちにとっても人気があり、いつも貸出されている状況です。



Nonokko の棚には、みんなの好きな、あの絵本のキャラクターも…。

【「Nonokko(ののっこ)」ってどんな意味？】

「ののっこ」の「のの」とは、幼児語で、尊いものを指す言葉です。

言葉としては古くからあり「ののさま・さん」や「のん」「ののおの」など、全国にのこる言葉です。青森でも、「おつきさまいくつ」という遊ばせ歌 “ののさまなんぼ 十三(じゅうさ)にななつ・・・” が伝わっていますが、月を尊いものとして、地方ごとに歌詞や展開にバリエーションを加えながら全国隈なくあります。

子ども達は、みんなの宝物、大切に守りたい「のの」さんです。また大人は、子ども達を月のような優しい光で照らし、見守る、子ども達にとって、大切な者として「のの」と慕われるように、と願ったものです。そして、かわいらしいものにつける接尾語「っこ」をつけ、親しまれる名前となるよう思いを込めました。



図書館のリニューアルオープンで児童閲覧室にお目見えした「**Nonokko(ののっこ)**」ですが、早速たくさんの方々に楽しんでいただいています。

子ども達はもちろんのこと、大人の方々も、懐かしい思い出の絵本に出会うことのできる場所となっているようです。

懐かしい「大好きな友達」といつでも会える場所に。そして、新しい「大好きな友達」と出会える場所に。「**Nonokko(ののっこ)**」は、そんな場所でありたいと考えています。

※「**Nonokko(ののっこ)**」の本は、いつでも皆さんに読んでいただけるよう、貸出ができません。貸出できる同じ本がありますので、カウンターにお尋ねください。



『応援団！宣言』

平成29年3月31日 発行

青森県立図書館 参考・郷土室/編

青森県立図書館/発行

〒030-0184 青森市荒川字藤戸 119-7

電話 017-729-4311/FAX:017-762-1757

青森県立図書館の電子図書館化推進構想

I 電子図書館化推進の理由

人々の日常生活にインターネットが深く根付いてきており、現在は何時でもどこからでも、文書、音楽、映像をダウンロードして楽しむことが一般的になりました。また、電子書籍の流通も年々拡大しており新刊書も続々と電子書籍化されています。生活のICT化は今後もその領域をますます拡大・進展させていくでしょう。

生活のICT化が進む中で、我が県立図書館も、生活に身近で役に立つ「地域を支える情報拠点」であり続けるために、「来館による利用」から「オンラインでの利用」が可能となるサービスの拡大を計画的に進め、県内の実態を踏まえた当館なりの電子図書館化を実現していく必要があります。

また、併せて電子図書館化の実現を通して、図書館サービス環境に相当の開きがある県内の状況を直接改善していくとともに、市町村立図書館における電子図書館化の検討も促していこうとするものです。

II 当館なりの電子図書館化の方向性

28年度及び33年度に予定される図書館システム更新時を的確に捉えつつ、社会の進展と本県の実態を踏まえて、情報化時代に適した図書館サービスを実現する電子図書館化を目指していきます。

(具体的目標)

1) 一般図書への電子書籍の導入

33年度のシステム更新時を目途に電子書籍を導入し、タイトル数・内容を年々充実させていきます。

2) 郷土貴重資料によるデジタルアーカイブ「あおりデジタル百科(仮)」の構築

今後5年間で、体系的に整備したデジタルアーカイブを構築・公開・充実させていきます。将来的には、関連機関(MLA)連携型、県民参加型の「あおりデジタル百科」として発展させていきます。

3) ボーンデジタル行政資料の収集・提供の促進

年々増加する県及び県関係機関が作成したボーンデジタル行政資料の網羅的収集を促進し、地域行政資料の適切な保存と提供体制を維持していきます。

4) デジタル資料の検索機能整備

今後5年間で、所有する全デジタル資料の書誌データ(メタデータ)を整備し、Web OPAC、NDL Search等から検索可能とします。

Ⅲ 電子図書館化の推進体制

(推進の中核)

新たに奉仕課に設置される「DL化推進チーム」が中核となって業務を推進していきます。また、企画支援課がハード（システム）面でサポートし、目標達成に努めることとします。

Ⅳ 推進スケジュール

別途定めます。

(当館なりの電子図書館づくり研究会が作成した電子図書館化作業工程表等を参考に、DL化推進チームで実務に即して再構成します。)

郷土資料デジタル化基本構想

1 目的

社会の高度情報化を踏まえ、郷土資料、貴重資料のデジタル化（収集・保存・提供を含む。）を推進することにより

- ① 郷土の歴史的・現代的な資料を確実に保存し、継承する
- ② 郷土資料を簡便に提供する
- ③ 郷土の多様な歴史的資料を身近に視覚的に提供する

ことを実現し、資料保存等の観点から閲覧等に多くの制約があった郷土資料、貴重資料の県民利用の拡大を図る。

2 デジタル化対象資料

次の郷土資料をデジタル化の対象資料として整理、収集、保存、提供等していく。

- ① 当館所有の貴重郷土資料
 - 既デジタル化資料（22～23年度緊急雇用対策事業分）
 - 新規デジタル化資料（27～貴重資料等電子化事業分 外）
- ② 民間・他機関等所有貴重郷土資料
 - 当面、WEB公開可能な資料（著作権切れ、又は権利処理が終了している資料等）に限る。
- ③ ボーンデジタル行政資料
 - 当面、県及び県関係機関が作成したボーンデジタル資料とする。

3 デジタル化資料の3段階活用

デジタル化され、整理・収集した資料は、

- ① 基本的に非紙媒体の郷土資料として保存、活用する。
- ② 資料の特性により、一部をWEB公開する「デジタルアーカイブ」に掲載する。
- ③ 関連施設（県立美術館、郷土館、埋文センター等）と連携（MLA連携）した活用を目指す。

4 デジタルアーカイブの目的とコンセプト

（目的）

- ① 時とともに失われる郷土の歴史をデジタルで保存し、
- ② 郷土を知り、理解を深める資料となるよう整理し、
- ③ 手軽な「青森の風土・歴史を知る入り口」とする。

(コンセプト)

- ① 近世（江戸）から昭和時代までの
- ② 文字だけでなく映像、音声までを対象に
- ③ 研究用途よりふるさと理解を主とした内容とし
- ④ 併せて県内アーカイブのポータルとしても機能させ
- ⑤ 授業にまで活用できるよう分かりやすく見せる

(デジタルアーカイブのプラス1コンセプト：県民参加・成長型アーカイブ)

将来的には、県民から寄せられた貴重なデジタル資料を活かす仕組みを構築し、県民が参加し育てる参加・成長型アーカイブを目指していく。

5 デジタルアーカイブの構成

ジャンル別編成を基本とする。

構成ジャンルは、郷土色（青森ならではの）を意識し、「青森の風土・歴史を知る入り口」になるという目的を達成できるものとする。（あおもりデジタル百科）

(構成例)

ふるさとの今昔

・・・→（江戸～昭和の町並みを絵図、写真類で表現）

青森の祭り今昔

・・・→（ねぶた、三社大祭、観桜会等のようすを記録文書、写真、映像で表現）

現)

青函海峡の今昔

・・・→（連絡船、青函トンネル、洞爺丸事件などを写真、新聞記事等で表現）

リンゴの今昔

・・・→（リンゴの主産地となった歴史を記録文書、写真等で表現）

災害・事件の歴史

・・・→（八甲田雪中行軍遭難、洞爺丸事件、歴史的地震などを写真、新聞記事等で表現）

太宰治の軌跡

・・・→（太宰文学の軌跡を文学館で所有している写真や資料で表現）

※文学関係は、独自アーカイブとせず、近代文学館が別途設定するアーカイブ情報へリンクする形態とする。(MLA連携形態)

なつかしの校歌

・・・→（廃校となった校歌の楽譜、演奏音源で表現：著作権切れ・権利処理済のもの）

あおもりの文化・くらし

・・・→（江戸期屏風、引き札（ポスター）、農村・漁村風景写真で表現）

古文書・記録・雑誌

・・・・→（現アーカイブ掲載物、笹森儀助、陸奥の友、民謡調査音源）

県立図書館今昔

・・・・→（青森県立図書館の記録写真で表現）

その他・・・随時ジャンル追加

参考アーカイブ・・・ジャンル毎に参考となる他機関アーカイブへリンク

（使用資料）

絵図、古文書、絵はがき、写真、動画、新聞記事（地元紙）

（書誌情報（メタデータ））

すべての掲載資料に書誌情報を作成し、Web OPAC、NDL Search からの検索を可能とする。

（その他、留意事項）

デジタルアーカイブ掲載にあたっては、著作権等権利関係に十分留意した処理を行う。

【行動指針（スローガン）「県民のもっと近くへ～図書館活動の見える化・使える化を進めよう～」】

市町村図書館、学校図書館が元気になるためにできることをもっと進めていこう

3年後のめざす姿：市町村立図書館活動のモデルとなる「元気な図書館」が2館育つ

五所川原市立図書館、つがる市立図書館、中泊町図書館
3館による地域連携の取り組み



八戸市立図書館
市教委との連携による学校図書館支援及び
八戸市「本のまち」に関する取組み



↑

- ・情報交換機会の設定
- ・事例紹介 等

↑

- ・情報提供、事例紹介
- ・取組みの情報発信 等

青森県立図書館

「元気な図書館」について

1 経緯

青森県立図書館は平成28年度、「県民のもっと近くへ～図書館活動の見える化・使える化を進めよう～」を行動指針（スローガン）とし、運営方針に定める目標に向かって、今後3か年、重点的な取組みを行うこととした。

企画支援課は、4項目の重点行動事項の1つとして「市町村図書館、学校図書館が元気になるためにできることをもっと進めていこう」と決め、市町村図書館については、3年後のめざす姿として「市町村立図書館活動のモデルとなる「元気な図書館」が2館育つ」ことを目標とした。

2 平成28年度（1年目）の状況

すべての図書館を訪問し、住民に対する広報活動等の状況把握を行った。また、「元気な図書館」候補となる図書館として、1地域・1館を選定した。

（1）五所川原市立図書館、つがる市立図書館、中泊町図書館の3館による地域連携の取り組み

○平成28年7月29日、つがる市立図書館の開館に合わせ、五所川原圏域（五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町の2市4町）で共通利用券廃止の運用を開始した。

○平成29年3月24日に3館及び県立図書館職員で話し合いを行った。

「圏域住民への図書館サービスの充実・向上のため、圏域図書館の相互利用を促進するネットワークを構築し、効率的な運営を図るとともに、利用者の増加につなげる。」という連携の目的を確認し、自館の強みや他館の強みを出し合いながら、具体的な連携の可能性について意見交換を行った。すぐに実現可能なものとして、五所川原市立図書館で開催する4月の展示（図書館の利用方法を紹介する内容）に合わせて、つがる市立図書館、中泊町図書館の利用案内を置くこととなった。

（2）八戸市立図書館の市教委との連携による学校図書館支援及び八戸市「本のまち」に関する取り組み

○平成28年度、市内の小中学校10校に配置した学校司書3名に対して、学校司書研修会を開催（平成28年度は3回）。

○平成28年度から、図書館職員と学校司書、指導主事が講師を担当する学校図書館ボランティア講習会を開催。

○市総合教育センターの搬送システムを活用した学校配本を実施。

○「本のまち」構想で平成26年度から開始したマイブッククーポンの配布に合わせて図書館でお薦めする本の展示を行っている。

3 平成 29 年度（2 年目）の行動計画

(1) 五所川原市立図書館、つがる市立図書館、中泊町図書館の 3 館による地域連携の取り組み

話し合いで挙げられた資料交換や展示テーマ交換などの連携について、できることを実行しつつ、定期的に連携の拡大にむけた協議を開催し、情報交換や進捗状況の確認を行う中で、3 館が思い描く連携の姿を絵に描いたり、言葉にして共通認識を図る。出来上がった絵や言葉を各館に掲示するなどして職員、関係者、利用者や市民に対して意識付けを図る。

(2) 八戸市立図書館の市教委との連携による学校図書館支援及び八戸市「本のまち」に関する取り組み

八戸市立図書館の取り組み状況を把握し、他館等の有益な情報の提供に努め、必要に応じて支援を行うと共に、青森県図書館連絡協議会会報「絆」などを活用し、八戸市の取り組みをモデル事例として県内市町村図書館へ情報発信する。

学校図書館に関わる すべての皆様へ

平成29年10月27日（金）に
青森県総合社会教育センター（青森市）で
学校図書館シンポジウムを
開催します。



- 主催 青森県教育委員会（予定）
- 対象 学校関係者、教育行政関係者、公共図書館関係者、一般県民 等
- 内容（予定）
 - 1 13:00～13:10 開会行事
 - 2 13:10～13:50 発表 1 「本県の学校図書館の現状を知る」
青森県立図書館
 - 3 13:50～14:20 発表 2 「学校図書館施策の推進」
文部科学省
 - 4 14:20～14:30 休 憩
 - 5 14:30～15:00 発表3-① 「本県のリーダー的動きを知る①」
八戸市教育委員会
 - 6 15:00～15:30 発表3-② 「本県のリーダー的動きを知る②」
五所川原市立図書館
 - 7 15:30～16:20 パネルトーク「あおもりの学校図書館に命をふきこむ
ために」

※内容等変更になる可能性があります。



9月中旬から
受付開始！

問い合わせ先
〒030-0184 青森県青森市荒川藤戸119-7
青森県立図書館 企画支援課
電 話 017-739-1456
FAX 017-739-8353

青森県学校図書館シンポジウム開催要項（案）

- 1 **テーマ** 「学校図書館未進化県 あおもり発
あおもりの学校図書館をみんなで考えるシンポジウム
Note1 進化のために知ることから始めよう」
- 2 **趣 旨**
平成 27 年の学校図書館法改正をはじめ、学校図書館を取り巻く情勢は全国的に進歩しているにも関わらず、本県においては停滞状態である。その原因は、財政的要因に限らず、学校現場での図書館の位置づけ、関係者の意識等複合的な要因があると思われる。
本シンポジウムは、学校図書館運営に直接携わる学校職員だけではなく、整備等の施策を担う教育行政職員、技術的支援を行いうる公共図書館職員等、学校図書館を取り巻くすべての関係者の現状認識と危機意識を共有するとともに醸成を図る第一歩としたい。
- 3 **期 日** 平成 29 年 10 月 27 日（金）
- 4 **会 場** 青森県総合社会教育センター 大研修室
- 5 **主 催** 青森県教育委員会
- 6 **共 催** 青森県図書館連絡協議会、青森県学校図書館協議会（予定）
- 7 **後 援** 青森県市町村教育委員会連絡協議会、青森県市町村教育委員会連絡協議会教育長会、青森県小学校長会、青森県中学校長会、青森県高等学校長協会、青森県特別支援学校校長会（予定）
- 8 **主 管** 青森県立図書館
- 9 **対 象** 学校関係者、教育行政関係者、公共図書館関係者、一般県民 等
- 10 **参加料** 無料
- 11 **日 程**

12:30 13:00 13:10 13:50 14:20 14:30 15:00 15:30 16:20

受付 30分	開会行事 10分	発表 1 本県の学校 図書館の現 状を知る 40分	発表 2 学校図書館 施策の推進 30分	休憩 10分	発表 3 ① 八戸市 ② 五所川 原市 30分 30分	パネルトーク 50分
12:30～16:20 大研修室前 学校図書館関連本の展示及び貸出						

12 内 容

- (1) 13:00～13:10 開会行事
- (2) 13:10～13:50 発表 1 「本県の学校図書館の現状を知る」
青森県立図書館 主任司書 妻神 昭子
- (3) 13:50～14:20 発表 2 「学校図書館施策の推進」
文部科学省初等中等教育局児童生徒課
指導調査係 係長 井川 恭輔
- (4) 14:20～14:30 休 憩
- (5) 14:30～15:00 発表 3-① 「本県のリーダー的動きを知る①」
教育振興基本計画に基づく学校図書館整備」
八戸市立白銀南中学校 教頭 佐々木 宏恵
(前八戸市教育委員会教育指導課主任指導主事)
- (6) 15:00～15:30 発表 3-② 「本県のリーダー的動きを知る②」
知恵とマンパワーによる学校図書館支援」
五所川原市立図書館 次長 須藤 紀子
- (7) 15:30～16:20 パネルトーク
「あおもりの学校図書館に命をふきこむために」
パネリスト 青森県立図書館 主任司書 妻神 昭子
八戸市立白銀南中学校 教頭 佐々木 宏恵
五所川原市立図書館 次長 須藤 紀子
つがる市立柏小学校 教諭 若松 由花
助 言 者 文部科学省初等中等教育局児童生徒課
指導調査係 係長 井川 恭輔
コーディネーター 青森県立図書館 館長 佐藤 宰
- (8) 12:30～16:20 青森県立図書館所蔵の学校図書館関連本の展示及び貸出

13 参加申込

- (1) 申込方法 別紙「参加申込書」に必要事項を御記入の上、次の申込先まで、
郵送、FAXまたはメールでお申込みください。
- 申 込 先 〒030-0184 青森県青森市荒川藤戸119-7
青森県立図書館 企画支援課
電 話 017-739-1456
FAX 017-739-8353
メール kyo@plib.pref.aomori.lg.jp
- (2) 申込締切 平成29年10月18日(水)
- (3) 変更等 お申込みの内容に変更が生じた場合は、申込み時と同様の方法
で御連絡ください(電話による連絡は御遠慮ください)。

(別紙)

送信先：青森県立図書館 企画支援課
FAX 017-739-8353
メール kyo@plib.pref.aomori.lg.jp

青森県学校図書館シンポジウム 参加申込書

所属名		
所属住所	〒	
	電話	FAX
連絡先	(上記以外にあれば)	
【参加者名】		
	職名	フリガナ
		参加者名
1		
2		
3		
4		
5		
【備考欄】		

平成 29 年度 青森県近代文学館 SNS による情報発信構想

平成 29 年 6 月 7 日 (水) 青森県近代文学館

1 目標 (目指す状態)

青森文学に関心をもつ若者層を拡大し、近代文学館を身近に感じてもらう。

2 主たるターゲット

20 代~30 代。近代文学館に来たことがない人。

3 発信内容

近代文学館の事業・主催イベント、青森県の作家にまつわるエピソード、クイズなど

4 発信方法・イメージ

①フェイスブックページを製作する。

②「くまきち」(文学好きのくまのキャラクター) が親しみやすい口調で語りかける。

③「くまきち」が作品や作家、文学館の事業について紹介するような画像を掲載する。
(関西テレビ「にじいろジーン」のジーンちゃんのようなイメージ)

5 試行期間

6 月下旬から 9 月下旬まで、週に約 1 回のペースで更新する。

期間内のフォロワー数、反響、労力等をふまえて、以降の実施方法について検討する。 「くまきち」

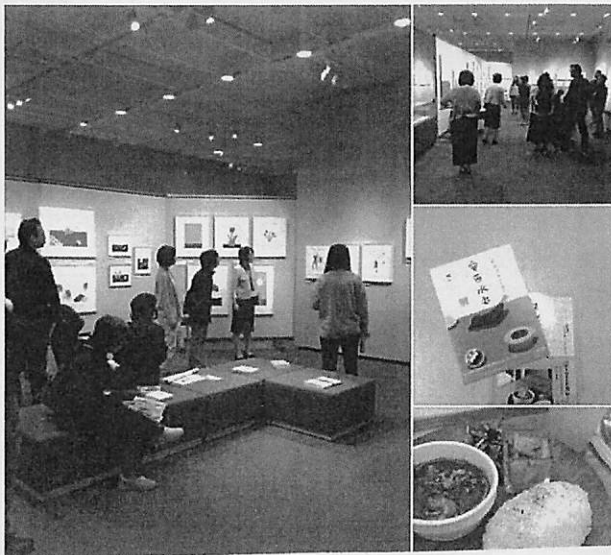
6 留意点

情報システム課の例に沿った運用ポリシーを策定し運用する。

<参考>

仙台文学館
仙台文学館さんが写真4件を追加しました。
4月28日

昨日から始まりました、「イラストレーター 安西水丸展」。今日は1回目の展示解説がありました。展示室では、学芸員の解説に笑ったり、うなずいたり。展示解説終了後も、皆さんそれぞれじっくりと作品に見入っていました。今日は天気も良いので、文学館のお庭を散歩するのもいいですよ。ぜひお散歩がてらいらしてください。ちなみに「ひざしの杜」では、展示期間中、カレーが大好物だった安西水丸にちなんで、「シーフードカレー」を期間限定でお出ししています。そのほか定番の日替わりランチ、鉄板のスイーツもありますので、ぜひお立ち寄りください!



仙台文学館
仙台文学館さんが写真3件を追加しました。
4月12日

恩田陸さんが、直木賞に引き続き、本屋大賞も受賞されました!! 直木賞と本屋大賞のダブル受賞は初の快挙とのこと、本当に嬉しい限りです。3月24日の仙台市からの「賛辞の楯」贈呈式の時は、終了後、仙台文学館にもお立ち寄りくださって、展示室もご覧いただきました。恩田さん、本当におめでとうございます!! 常設展示室には、恩田さんの展示もありますので、皆様ぜひお立ち寄りください。



仙台文学館フェイスブックより

図書館サービス点検・検討のための臨時休館日の設定について

1 休館日の状況

- ・年末年始 12月29日から翌年の1月3日まで
- ・特別蔵書点検期間 年間10日以内
- ・館内整理日 毎月第4木曜日
(開館日数 年間338日：全国都道府県立図書館平均293日)

※平成12年4月1日から祝日開館を開始

※平成16年7月19日から月曜開館を開始(月1回、第4木曜日休館)

2 職員の勤務状況

- ・土日祝日と9時から19時までの開館に対応するために変形交代制勤務。
- ・3班体制で勤務割振(3週間に1度の週休日勤務、3回に1度の祝日勤務)。

※全職員が揃うのは、火・水・木曜日であるが、カウンターに常時一定数の職員を配置する必要があるため、日常は打合せ時間の確保が難しい状況である。

3 図書館の役割

- ・社会や生活基盤の変化に遅れることなく、県民が求める資料や情報をスムーズに提供していく使命がある。
- ・県民の身近でお役に立つ施設として、時代と共に成長していかなければならない。

4 課題

県立図書館では、多くの課題を抱えながら、課題に向き合い、知恵を出し合って議論し、時代にマッチしたよりよいサービスの改善策を見いだす時間はほとんど取れない現状である。

5 対応案

社会の変化に即した快適なサービスを安定的・継続的に届けるための点検と改善、新たな取り組みなどの検討等を行なう「図書館サービス点検・検討のための休館日」として年3～4日程度の臨時休館日を設定する。

6 休館日の設定日

- ・平成29年度
7月6日(第1木曜日)、9月14日(第2木曜日)、11月9日(第2木曜日)
- ・平成30年度以降(29年度の実施効果の点検結果により効果が見られた場合)
運営規則(県教委規則)を改正し、正規の休館日として定める。
(年間4日以内：4月1日と7月、11月、3月の第2木曜日)

臨時休館日に関するお知らせ

県立図書館では、月に1日（第4木曜日）定期休館日をいただいておりますが、今年度、定期休館日に加え、年に3日程度の臨時休館日（図書館サービス点検・検討のための休館日）をいただきます。

（臨時休館日設定の理由）

県立図書館は、社会や生活基盤の変化に遅れることなく、県民の皆様が求める資料や情報をスムーズに提供していく使命があります。そのため、図書などの一般資料の収集・保存は十分か、提供方法に改善の余地はないか、これからの地域資料やデジタル資料の収集と公開はどのようにすべきか、もっとくらしとしごとに役立つ資料や情報の提供方法はないかなど、個々具体の課題について不断に点検と検討を進め、また、地域の市町村立図書館の実態に即した更なる支援活動を通して、県民の皆様の身近でお役に立つ施設として時代と共に成長していかなければならないと考えております。

月に1日の休館日に加え、年に3日程度の臨時休館日をいただくことにより、職員が集中して社会の変化に即した快適なサービスを安定的・継続的にお届けするためのサービス点検と改善、新たな取り組みなどの検討等を行い、より快適な図書館環境と資料案内、レファレンスサービス等を提供し、また、一層の市町村立図書館支援に資するよう努めて参ります。

皆様には、ご不便をお掛けいたしますが、図書館サービス点検・検討のための臨時休館日の設定に何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

臨時休館日（図書館サービス点検・検討のための休館日）

- ・ 7月 6日（木）
- ・ 9月14日（木）
- ・ 11月9日（木）

平成29年6月 日
青森県立図書館
館長 佐藤 宰

都道府県立図書館休館日の状況

29. 5. 15

区分	都道府県名	休館日状況			開館日数	備考
		定例	蔵書整理・点検	年末年始		
1	北海道	月曜、毎月末日	(3/6~13)	12/29~1/3	287	
2	青森	第4木曜	10日	12/29~1/3	338	
3	岩手	毎月末日	7日	12/29~1/3	336	入居ビルの施設点検日 5/27,10/28(土)
4	宮城	月曜	有り	12/29~1/3	296	1/4館内整理日 4/1午前、 4/7,5/12,6/9,9/8, 11/10,12/28,1/25 ,3/28午後館内整理
5	秋田	第1水曜	(5/30~6/7)	12/28~1/3	332	
6	山形	月曜、第3日曜	15日	12/29~1/3	286	4/1休館
7	福島	月曜、第1木曜	10日	12/28~1/4	288	
8	茨城	月曜、毎月末日	年2回それぞれ7日	12/29~1/3	297	
9	栃木	月曜、第4木曜	年2回それぞれ7日	12/28~1/4	288	
10	群馬	月曜、最終木曜	春秋それぞれ10日	12/28~1/4	198	
11	埼玉	月曜、第4金曜	春秋それぞれ7日	12/29~1/3	191	
12	千葉	月曜、第3金曜	10日	12/28~1/4	293	
13	東京	第1木曜	12日	12/29~1/3	327	毎月1日保守点検
14	神奈川	月曜、第2木曜	14日	12/28~1/4	293	
15	新潟	月曜	2週間	12/29~1/4	309	
16	富山	月曜、第4木曜	10日	12/28~1/4	285	臨時休館2日
17	石川	毎月末日、祝日	4月9月それぞれ10日	12/29~1/3	314	ばく書期間
18	福井	月曜、第4木曜、祝日の翌日	10日	12/28~1/4	299	
19	山梨	月曜	(6/5~12)	12/29~1/3	341	
20	長野	月曜、最終金曜	5/16~31	12/28~1/4	277	4/1館内施設整備 期間規則
21	岐阜	月曜、最終金曜	10日	12/28~1/4	286	
22	静岡	第1、3、5月曜、毎月末日	2週間	12/28~1/3	304	
23	愛知	月曜、第2木曜	15日	12/28~1/4	285	
24	三重	月曜、毎月末日、祝日の翌日	20日	12/29~1/3	291	1/4館内整理日
25	滋賀	月曜、火曜、祝日の翌日	有り	12/28~1/4	247	
26	京都	月曜、第4木曜	15日	12/28~1/4	286	
27	大阪	月曜、第2木曜	部分閉鎖	12/29~1/4	299	
28	兵庫	月曜、第3木曜	2週間	12/28~1/4	296	
29	奈良	月曜、毎月末日	(2/16~3/2)	12/28~1/4	294	
30	和歌山	月曜、第2木曜	10日	12/29~1/3	287	1/4館内整理日
31	鳥取	第2木曜、毎月末日	(1/30~2/9)	12/29~1/3	326	
32	島根	月曜、第1木曜	10日	12/28~1/4	286	
33	岡山	月曜	14日	12/29~1/3	298	
34	広島	月曜、祝日	14日	12/28~1/4	263	
35	山口	月曜、毎月末日	10日	12/28~1/4	288	
36	徳島	月曜、第3木曜	10日	12/29~1/4	288	
37	香川	月曜	10日	12/29~1/3	294	
38	愛媛	月曜、毎月末日	10日	12/29~1/3	279	
39	高知	月曜、最終金曜、祝日	2週間	12/29~1/4	275	5/3,11/3開館
40	福岡	月曜、毎月末日	2週間	12/28~1/4	293	4/1創立記念日
41	佐賀	最終水曜	(11/10~11/16)	12/30~1/3	342	
42	長崎	月曜、毎月末日	10日	12/28~1/5	287	
43	熊本	火曜、最終金曜	14日	12/28~1/3	290	
44	大分	第1、3、5月曜	15日	12/28~1/4	320	
45	宮崎	月曜	(2/19~2/26)	12/29~1/4	302	
46	鹿児島	月曜、25日	2週間	12/29~1/4	293	
47	沖縄	火曜、祝日	20日	12/28~1/4	278	6/23慰霊の日

【参考】

- ・休館日は管理運営規則などによる、蔵書整理など規則に期間がないものはカレンダー参照
- ・開館日数は、平成27年度(2015年)都道府県図書館の統計「日本の図書館」2016年調査票より